

地域課題提出フォーマット【県教育DX推進グループ】

<p>解決したい、実現したいことを一言で！</p>	<p>教育DXプロジェクトの目指す学びの姿である「誰もがいつでもどこでも誰とでも自分らしく学ぶことができる 子ども主体の学び」を実現したい。</p>
<p>その理由（なぜ、やりたいのか） （誰のどのような困り事を解決したいか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県では、電子黒板の配備や1人1台端末の整備など、ICT活用教育の推進に努めてきた。 ・ 今後、更なる展開として、AI等の技術革新により社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0」時代の到来を見据え「DXによる教育の変革」に取り組んでいきたい。 ・ 近年、教育現場において「教育DX」として、デジタル技術を活用した子ども達の学びの変革や教職員の業務改革が叫ばれており、特に子ども達の学びの変革について時代に対応した教育を確立していきたい。 ・ 学びの主角である子ども達にとって、一人ひとりの子ども主体の学びを実現し、デジタル社会でたくましく生き抜く子ども達の可能性を最大限引き出していきたい。
<p>これまでの取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの佐賀県の教育情報システムは、校務支援を中心に機能化されており、文書管理や掲示板、校務事務（成績・出欠 等）の機能を主に教職員に提供していた。 ・ 生徒についても1人1台端末を活用する教育を推進してきたが、生徒自身が自らの弱み・強みを確認したり、修正したりする様な子どもの主体的な学びに繋がるような仕組みは提供できていない。
<p>今回、共創したい内容（横展開したい内容）</p>	<p>佐賀県の子どもたちにとって、主体的な学びに繋がる様な生徒に関する情報（個人成績等）の見える化・分析・提案ができるような機能の検討</p>
<p>自由記述</p>	<p>このような機能はポータル（グループウェア）機能及びダッシュボード機能と呼ばれています。</p> <p>特に県立高校や特別支援学校向けのダッシュボード機能については、先進的な事例が少なく、どのような機能や仕組み、画面イメージが良いか知見や発想が不足しています。</p> <p>また、これらの仕組みを構築する場合は、複数のアプリ（校務システム、学習ドリル等）から、情報を集約し、表示する仕組みが必要だと認識しています。</p> <p>ぜひ、佐賀県の子どもたちにとって、主体的な学びに繋がる様な機能や仕組み及び画面イメージについて、有用な提案をいただければ幸いです。</p>